

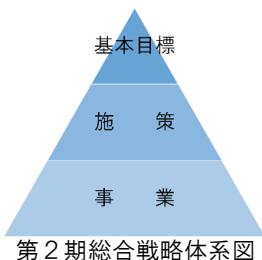
## 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略について

国において、平成26(2014)年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、平成26(2014)年12月に人口の現状と将来の展望を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び、今後5か年の政府の施策の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。これを受け、本市においても、国の長期ビジョンや国の総合戦略を勘案しつつ、人口動向分析や市民の定住、結婚、子育て等に関する意向の把握を行い、「八潮市人口ビジョン」(以下「人口ビジョン」という。)を策定しました。

人口の将来展望は令和7(2025)年をピークに減少へ転じることが予測されており、今後の人口減少社会へ対応するため、人口ビジョンを踏まえ、平成27(2015)年度に「八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「総合戦略」という。)を策定し、人口減少対策に取り組んできました。

さらに、令和元(2019)年度には、第5次八潮市総合計画(以下「総合計画」という。)の見直し時期に合わせて、総合戦略の計画期間を令和3(2021)年度まで延長しました。

国及び県においては、令和2(2020)年度から令和6(2024)年度の5か年を対象期間とした「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されており、本市においても引き続き将来の人口減少を見据えた各種事業を推進していく必要があることから、国及び県の総合戦略を勘案しつつ、「第2期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定することとします。



### ○期 間

令和4年4月1日から令和8年3月31日まで(4か年)

### ○基本目標

- 基本目標1 産業の振興と就労支援によるいきいきと働く環境づくり
- 基本目標2 人や情報の交流による「住みやすさナンバー1のまち八潮」の発信
- 基本目標3 保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり
- 基本目標4 自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成

### ○施 策

総合計画の実施計画(以下「実施計画」という。)において定めます。

なお、施策については、総合計画で位置付ける「施策の内容」を用いることとし、各施策に第2期総合戦略対象事業が含まれる場合は、総合計画の基本計画内に右のアイコンを表示します。

総合戦略

### ○事 業

実施計画において定めます。

### ○数値目標及び重要業績評価指標(KPI)

第2期総合戦略における数値目標は、実施計画に定めます。また、重要業績評価指標(KPI)は、実施計画の成果指標とし、事務事業評価を用いて毎年度効果検証を実施します。

## 第2期八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略 対象事業一覧

基本目標1	産業の振興と就労支援によるいきいきと働く環境づくり					
数値目標	指標名	八潮市の有効求人倍率 (当該年度の平均値)				
	数値	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
	単位	1.61	現状値と 同程度を 維持	現状値と 同程度を 維持	現状値と 同程度を 維持	現状値と 同程度を 維持

1-1	施 策 名	中心商業拠点の形成				
	事 業 名	中心商業拠点の形成事業				
	総合計画との関係	第 4 章 — 第 2 節 ( P 103 )				
	事 業 概 要	中心商業拠点を形成するため、八潮駅周辺事業者の組織化を推進し、市内商店会との連携を図り、市内全域の商業活性化を支援する。これにより、市内経済の活性化が図られる。				
	担 当	市民活力推進部 商工観光課				
	KPI名	八潮駅周辺地区における商店街組織数／年間				
	重要業績評価指標(KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
		数値	0	0	0	0
		件	件	件	件	件

1-2	施 策 名	経営近代化の促進				
	事 業 名	経営革新取組企業支援事業				
	総合計画との関係	第 4 章 — 第 3 節 ( P 105 )				
	事 業 概 要	経営の向上を図るため、中小企業新事業活動促進法に基づき、中小企業が行う新技術の活用や異分野連携による新事業開拓などを支援する。これにより事業所の生産性向上、事業拡大が図られる。				
	担 当	市民活力推進部 商工観光課				
	KPI名	経営革新計画承認件数／累計				
	重要業績評価指標(KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
		数値	96	114	123	132
		件	件	件	件	件

1-3	施 策 名	工業環境の整備				
	事 業 名	工業支援事業				
	総合計画との関係	第 4 章 — 第 3 節 ( P 105 )				
	事 業 概 要	中小企業経営者の高齢化が進む中、事業承継が大きな課題となっている。そこで「後継者の教育」「経営体制の整備」など長期的に取り組むことが必要であることから、セミナーを実施し、事業承継に向けた事業者の意識を高める。これにより、市内事業所の事業継続が図られる。				
	担 当	市民活力推進部 商工観光課				
	KPI名	事業承継事業所数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
1-4	数値	0	0	0	0	1
		件	件	件	件	件

1-4	施 策 名	地産地消の推進と農産物のブランド化				
	事 業 名	地産地消推進事業				
	総合計画との関係	第 4 章 — 第 1 節 ( P 100 )				
	事 業 概 要	新たな需要の拡大や販路の開拓を促進するため、市独自の認定制度の創設により八潮の八つの野菜のブランド化や情報発信によるイメージアップを図り、高品質で付加価値の高い商品等の創出を支援する。				
	担 当	市民活力推進部 都市農業課				
	KPI名	直売所利用者数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
1-5	数値	62,644	75,200	76,800	78,400	80,000
		人	人	人	人	人

1-5	施 策 名	都市核と地域核の形成				
	事 業 名	北部拠点まちづくり事業				
	総合計画との関係	第 5 章 — 第 1 節 ( P 113 )				
	事 業 概 要	外環八潮PA整備や外環八潮スマートICの設置及び流通業務機能、道の駅などの集客施設等の導入による拠点形成を図るため、「北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画」に基づき地元マネジメント組織を立ち上げ、個別開発によるまちづくり(企業立地)を促進する。				
	担 当	都市デザイン部 都市計画課				
	KPI名	北部拠点地区の進出事業所数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
	数値	0	0	0	0	1
		件	件	件	件	件

基本目標2	人や情報の交流による〔住みやすさナンバー1のまち八潮〕の発信				
数値目標	指標名	市民意識調査による、八潮市に住み続けたい20~40歳代の割合 (「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」の合算値) ※無回答を除き算出			
	数値	現状値(R1)	R4	R5	R6
		69.9	75.0	—	—
	単位	%	%	%	%

2-1	施 策 名	広聴・広報の充実					
	事 業 名	広報事業					
	総合計画との関係	第 6 章 — 第 2 節 ( P 139 )					
	事 業 概 要	本市の産業や観光資源などの「八潮市の魅力」について、様々な広報媒体を活用して効果的に発信する。					
	担 当	企画財政部 秘書広報課					
	重要業績評価指標(KPI)	KPI名	市ホームページ閲覧数／年間				
		現状値(R1)	R4	R5	R6	R7	
		数値	1,052,228	1,100,000	1,155,000	1,212,000	1,272,000
		件	件	件	件	件	

※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2の数値は大幅増となつたため、R1を現状値とした。

2-2	施 策 名	コミュニティ環境の整備					
	事 業 名	コミュニティ施設整備事業					
	総合計画との関係	第 1 章 — 第 8 節 ( P 59 )					
	事 業 概 要	地域コミュニティの活動拠点である町会・自治会館の改修や修繕、活動に必要な備品等の購入を支援することで、地域コミュニティの活性化を図り、世代間の交流を促進する。					
	担 当	市民活力推進部 市民協働推進課					
	重要業績評価指標(KPI)	KPI名	町会自治会館備品購入／累計				
		現状値(R2)	R4	R5	R6	R7	
		数値	1	3	4	5	6
		件	件	件	件	件	

2-3	施 策 名	観光の振興				
	事 業 名	観光資源開発事業				
	総合計画との関係	第 4 章 一 第 4 節 ( P 107 )				
	事 業 概 要	「中川やしおフラワーパーク」「水辺の楽校」「やしお駅前公園」は本市の貴重な観光資源であることから、様々な観光イベント等を実施し、多くの観光客が訪れることで、本市の産業振興に寄与する。				
	担 当	市民活力推進部 商工観光課				
	KPI名	入込観光客数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R1)	R4	R5	R6	R7
		186,000	212,000	213,000	214,000	215,000
		人	人	人	人	人

※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2の数値は大幅減となったため、R1を現状値とした。

基本目標3	保育や教育の充実による親子が安心できる子育て環境づくり				
数値目標	指標名	市民意識調査による、20～40歳代の子育て環境に対する満足度 （「満足」「やや満足」の合算） ※無回答を除き算出			
	現状値(R1)	R4	R5	R6	R7
	数値	16.3	21.0	—	26.0
	単位	%	%	%	%

3-1	施 策 名	子育て支援の推進				
	事 業 名	地域子育て支援拠点事業				
	総合計画との関係	第 2 章 — 第 8 節 ( P 81 )				
	事 業 概 要	子育て親子(概ね3歳未満の児童及び保護者)の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等を実施する。				
	担 当	子育て福祉部 子育て支援課				
	KPI名	子育てひろば利用者数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
		数値	20,248	30,000	40,000	50,000
		件	件	件	件	件

3-2	施 策 名	子育て支援の推進				
	事 業 名	利用者支援事業				
	総合計画との関係	第 2 章 — 第 8 節 ( P 81 )				
	事 業 概 要	駅周辺の子育て支援施設等に子育てコーディネーターを配置し、教育・保育施設や地域子育て支援事業等の利用に関する情報集約と情報提供を行うとともに、保護者からの相談に応じ、情報提供、助言を行うサービスについて、委託により実施する。				
	担 当	子育て福祉部 子育て支援課				
	KPI名	相談件数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
		数値	329	340	360	380
		件	件	件	件	件

3-3	施 策 名	保育施設の整備				
	事 業 名	保育所整備事業				
	総合計画との関係	第 2 章 一 第 8 節 ( P 81 )				
	事 業 概 要	毎年4月1日時点における待機児童数を踏まえ、今後の駅周辺の住環境整備の進捗状況や女性就業率の上昇等を勘案し、民間認可保育所及び小規模保育事業所の整備等について検討する。				
	担 当	子育て福祉部 子育て支援課				
	KPI名	利用定員数(翌年度4月1日現在)				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
	数値	1,664	1,850	1,943	2,054	2,054
		件	件	件	件	件

3-4	施 策 名	保育施設の整備				
	事 業 名	放課後児童健全育成施設整備事業				
	総合計画との関係	第 2 章 一 第 8 節 ( P 81 )				
	事 業 概 要	今後の駅周辺の住環境整備の進捗状況や女性就業率の上昇等を勘案し、学童保育所の整備について検討する。				
	担 当	子育て福祉部 子育て支援課				
	KPI名	定員数(翌年度4月1日現在)				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
	数値	670	670	670	730	730
		件	件	件	件	件

3-5	施 策 名	保育内容の充実				
	事 業 名	学童保育所管理運営事業				
	総合計画との関係	第 2 章 一 第 8 節 ( P 81 )				
	事 業 概 要	子育て支援環境の充実を図るため、駅周辺に学童保育所を整備し、併せて駅周辺の学童保育所の開所時間を延長する。				
	担 当	子育て福祉部 保育課				
	KPI名	学童保育所利用者数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
	数値	6,797	7,180	7,180	7,800	7,800
		人	人	人	人	人

3-6	施 策 名	家庭における教育の充実				
	事 業 名	家庭教育推進事業				
	総合計画との関係	第 1 章 一 第 4 節 ( P 51 )				
	事 業 概 要	将来、親になるための学習として、世の中にとって自分自身が大切な存在だと思える気持ちを育み、命の大切さを伝えるいのちの授業等を市内小中学校において実施する。				
	担 当	教育総務部 社会教育課				
	KPI名	いのちの授業等実施回数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
	数値	20	25	27	27	30
		回	回	回	回	回

3-7	施 策 名	教育内容の充実				
	事 業 名	教育指導推進事業				
	総合計画との関係	第 1 章 一 第 2 節 ( P 45 )				
	事 業 概 要	学習塾と連携し、児童一人ひとりのつまづきを把握し、それに応じた課題に取り組むことにより、個々の学力を伸ばし、学力向上を図る。				
	担 当	学校教育部 指導課				
	KPI名	全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R1)	R4	R5	R6	R7
	数値	小-1.7 中-6.3 ポイント	小+2.0 中+1.0 ポイント	小+3.0 中+1.5 ポイント	小+4.0 中+2.0 ポイント	小+5.0 中+2.0 ポイント

※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2は未実施であったため、R1を現状値とした。

3-8	施 策 名	教育内容の充実				
	事 業 名	小中一貫教育推進事業				
	総合計画との関係	第 1 章 一 第 2 節 ( P 45 )				
	事 業 概 要	小中学校9年間を円滑に接続し、「学力・体力の向上」と「豊かな心の育成」を目指し、「知・徳・体」のバランスの取れた児童生徒を育成するため、小中一貫教育を実施する。				
	担 当	学校教育部 小中一貫教育推進室				
	KPI名	全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R1)	R4	R5	R6	R7
	数値	小-1.7 中-6.3 ポイント	小+2.0 中+1.0 ポイント	小+3.0 中+1.5 ポイント	小+4.0 中+2.0 ポイント	小+5.0 中+2.0 ポイント

※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2は未実施であったため、R1を現状値とした。

基本目標4		自助・共助・公助の充実による安全・安心なコミュニティの形成				
数値目標	指標名	市民意識調査による、市民の防犯対策の充実に対する満足度 （「満足」「やや満足」の合算値） ※無回答を除き算出				
	数値	現状値(R1)	R4	R5	R6	R7
		9.4	14.5	—	—	19.5
単位		%	%	%	%	%

4-1	施 策 名	防犯力の強化				
	事 業 名	防犯活動普及事業				
	総合計画との関係	第 3 章 — 第 3 節 ( P 91 )				
	事 業 概 要	防犯協会を通じて防犯対策及び自主防犯組織の育成、支援を行い地域の防犯力の強化を図る。 また、オウム真理教対策や暴力排除、暴力団排除を推進するとともに、犯罪の起きにくいまちづくり(防犯環境設計)を推進する。				
	担 当	生活安全部 交通防犯課				
	KPI名	犯罪認知件数／年間				
	重要業績評価指標(KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
	数値	648	600	600	600	600
		件	件以下	件以下	件以下	件以下

4-2	施 策 名	防犯施設の整備				
	事 業 名	防犯施設整備事業				
	総合計画との関係	第 3 章 — 第 3 節 ( P 91 )				
	事 業 概 要	町会自治会が設置管理する防犯灯に対し、設置は3分の2上限6万円、ただしLED灯の場合8万円を限度に全額、修繕は3分の2上限2万円、電気料は全額を補助する。計画に基づき防犯カメラを警察と協議しながら設置場所を決定し、整備する。				
	担 当	生活安全部 交通防犯課				
	KPI名	全防犯灯数／延べ数				
	重要業績評価指標(KPI)	現状値(R2)	R4	R5	R6	R7
	数値	3,517	3,620	3,660	3,700	3,740
		基	基	基	基	基

4-3	施 策 名	交通安全意識の高揚				
	事 業 名	交通安全指導・教育事業				
	総合計画との関係	第 3 章 一 第 5 節 ( P 95 )				
	事 業 概 要	幼稚園及び保育所においては正しい道路の渡り方を、小学校及び中学校においては正しい自転車の乗り方を、高齢者施設においては交通ルールの再確認を中心に交通安全教室を実施する。また、通学路の主要な交差点等において交通指導員が子どもたちの安全を確保するため立哨を行う。また、併せて交通指導を行う。				
	担 当	生活安全部 交通防犯課				
	KPI名	交通安全教室参加者数／年間				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R1)	R4	R5	R6	R7
数値		7,986	8,000	8,100	8,200	8,300
人		人	人	人	人	人

※新型コロナウイルス感染症の影響によりR2の数値は大幅減となったため、R1を現状値とした。

4-4	施 策 名	コミュニティ活動の推進				
	事 業 名	コミュニティ意識高揚事業				
	総合計画との関係	第 1 章 一 第 8 節 ( P 59 )				
	事 業 概 要	町会・自治会等の公民館を開放し、子どもを中心とした学びや遊びの場として、また、外国人住民との交流の場として活用し、地域のコミュニティ意識の醸成を図る。				
	担 当	市民活力推進部 市民協働推進課				
	KPI名	市民意識調査による、地域活動への参加状況 (「積極的に参加」「ときどき参加」の回答) ※無回答を除いて算出				
	重要業績評価指標 (KPI)	現状値(R1)	R4	R5	R6	R7
数値		16.6	43	—	—	48
%		%	%	%	%	%